

久宝寺寺内町新聞

ようこそ久宝寺へ!
~ Welcome to Kyuhôji! ~



ブライアン エルカビッチさん
美村 佳代さん



アメリカへの帰省や旅行ではパスポートが
8冊いるとか!

美村さん「久宝寺の
中でも私たちが住ん
でいるエリアは昔な
がらのご近所付き合
いがあり、私たちは
もちろんのこと、子
供たちの事も温かく
見守っていただけ

今回は美村佳代さん
と、ご主人のブライア
ン エルカビッチさん
ん三人のお子さん、な
んとお腹の中にはもう
一人赤ちゃんがいると
か・・・
そんなご家族にお伺い
しました。



雪(さゆき)くん、
朝馬(そうま)くん、
ミン(みん)くん、
ジュリアン(じゅりあん)くん、
ジャスティン(じゃすติน)くん、
遊(あそび)ちゃん、
シルヴェスター(しるべすたー)くん



愉快な家族で ハイ!チーズ

広報部「宜しくお願ひいたし
ます。
美村さん「こちらこそ、宜し
くお願ひいたします。
広報部「いつ頃このまちに越
されてきましたか?
美村さん「私は久宝寺で生ま
れ育ちましたが、留学中に出
会ったアメリカ人の彼と結婚
して約七年前に久宝寺に引
越してきました。
広報部「具体的な理由などは
ありますか?
美村さん「せっかく日本に住
んで大阪で仕事をやるなら、
私の両親も近くに住んでいる

ことですし、生まれ育った久宝寺に
住むことになりました。また生まれ
育った場所で子育てをしたいとい
願ひもありました。広報部「では、
実際住まれてみての感想などを、お
聞かせいただけますか?
美村さん「海外に住んでいた時期を
挟んでも久宝寺はほとんど変わって
いないように感じました。もちろん
新しい家やビルが建っているなどは
ありましたが、久宝寺の味のある街
並みや小さな通りなんかは私が小学
生だったころと全く変わっていない
と思います。
広報部「ご主人に伺います。
エルカビッチさん「コンニチハ!ハ
ジメマシテ。
広報部「日本語がとてもお上手です
ね。どんなお仕事をされているん
ですか?
エルカビッチさん「英語の教師と翻
訳の仕事をしています。今住んでい
る場所は許麻神社のすぐ近くなの
ですが、神社がすぐ近くにあるとい
う環境がとても気に入っています。そ
れに加えて近所に住む方々と良い関
係を築けるところが子育てに最適だ
と思います。問題が起きた時などご
近所の人たちに頼ることができると
いうのはとてもいいことだと思います。

親としてはとても安心できます。雨
が降ってきたら「雨降ってきたから
洗濯物入れやり」と言ってもらえ
たりする気さくな関係というのは、実
はとても貴重なものだと思います。
広報部「では最後に将来この町が、
こうなったらいいなあ・・・と
思うことはあるでしょうか?
美村さん「家主さんがお年を召した
り、耐震の問題があったりして昔な
がらの古い建物が空き家になること
もあるかもしれませんが、なるべく
できることなら古い建物を最大活用
してカフェを運営したり、アーティ
ストや作家さんの活動の場に活かし
たりすると、久宝寺の味あるまちな
みを長くそのままにしながらも、地
元が一層元気になるのではないかと
思います。
広報部「本日は大変ありがとうございました。
美村さん「ありがとうございます。



久宝寺のまちなみにとけ込む素敵なお家

「ようこそ久宝寺へ!」インタビュ
受けて募集中! 詳細は12ページ。



笠 久恵さん

心通うまごころのお店

「ここに来ないと一日が始まらない！」

「私の生きがい！」
お店に通うお客さんから、そんな声が聞こえてくるのが「寺内町カフェ 真ぐる」。

小さなカフェながら、寺内町のなかで、貴重な憩いの場として、大きな役割を果たしています。

「なにより、お客さんと楽しくおしゃべりできることが幸せ」と語るの、お店のママである笠久恵さん。

店名の「真ぐる」は、沖縄の言葉で「まごころ」。沖縄の友人から、「お店をするならまごころで」とアドバイスされたことが由

このコーナーでは、おもに久宝寺で活躍する人を中心に、地域を元気にしてくれるお店などを紹介します。
題して「久宝寺く守る・創る・育てる」
第3回は、寺内町の憩いの場として親しまれている「寺内町カフェ 真ぐる」の笠久恵さんをご紹介します。

来とのこと。

食べる方の健康を願って、手作りパンのモーニングやランチの和定食は、素材やカロリーにも気を配っています。

顔なじみのお客さんが帰る時には「体だいいじにしてや！」と声かけも。

「一人でも二人でも、喜んでくださればうれしい」と語る笑顔からは、笠さんのまごころが伝わってきます。

大病を乗り越えて

現在、ご主人と2人の娘さんの4人家族で、幸せな日々を過ごすがんと診断されました。早期発見

だつたものの、その病院では、同じ症例で5人中4人が亡くなっていると言われ、絶望の淵に――。

まだ幼い子どもたちの成長を思い、自分がおぼあちゃんになるまで、何としても生きたいと心に誓

い、厳しい病との戦いに打ち勝つことができた。

そうした経験が、提供する食事へのこだわりや、お客さんの健康への気づかひとなつて表れています。

一つ一つの出会いに、感謝できるようなつたことや、人の役に立ちたいと考えるようにな



(上) 自家製パンを使ったサンドイッチのモーニング ¥400



(左) 和定食(ランチ)はこのボリュームにコーヒーが付いて ¥700 (ごはんのおかわり自由)



店内には笠さんの思いを聞いた知人から贈られた書が

れたのは、自身を苦しめた病気がおかげだということ、今になって思えるようになってきたといいます。

みんなの心に久宝寺に 暖かい灯火を

一度は失いかけた命――その命を精一杯生き切ろうとするかのよう、カフェのママにとどまらず、

す。

「尊敬する人はパパ(ご主人)」と語る笠さんは、家庭においても良き妻として、良き母として全力投球の毎日。

最近「真ぐる」には、地元の方だけではなく、寺内町のまち歩きに訪れた方が、多く立ち寄り寄っていかれるということもあり、「大好きな久宝寺を、もっともっと盛り上げていきたい」とますます意欲を燃やします。

久宝寺のこれからについてたずねると、「自分たちの時代のさらに先を見据えて、今後は地域の子どものために、自分にできることをやっていきたい」と。力強く未来を語る笠さんの飾らない笑顔が輝いていました。



「人が好きなんです」と語る笠さん その人柄で多くの人から信頼されている

ネイリスト・日本語教師・雅楽奏者などの顔を持ち、ホームステイの受け入れ、地域のボランティア等の社会貢献も。さらにはお菓子作りや陶芸の勉強と周囲も驚くほどエネルギーに活動していま



寺内町cafe' 真ぐる

オープン 8:00ごろ

クローズ 17:00

(土・日 11:00)

休み 水曜・祝日

八尾市久宝寺4丁目

1-27

072-934-7800

久宝寺

歴史浪漫を訪ねて

麟角堂創建遺址

富山 喬三

かつて久宝寺には、お城があった。室町幕府に仕えた渋川満貞の居城である。この殿様は文武両道に精通し「和」をも重んじ、精霊祭には屋敷を開放して村民に盆踊りを許されるなど、庶民の信頼も厚く善政を敷いたことで知られる。学問や教育にも熱心で堀川屋敷を開放して麟角堂という学問所を開いた。今もその跡地に「麟角堂創建遺址」の碑が建っている。寺内町の表町通りの東口にある。満貞が自ら私費を投じて高価な書物を集め、麟角堂では万民、誰もが学問をすることが許された。天正3年、安井貞重がこれを中興し、堺の学者今村道和を招いて漢籍の講義を聴かせた、という。八尾も含めて大阪にある過去の学問所は適塾や環山楼(かんざんろう)にしても八代將軍吉宗の江戸時代の開校である。それと比較して何と室町時代である。この時代の久宝寺の学問に対する意気込みが理解できる。それはともかくとして麟角堂と名づけたい、わねだが満貞が夢の中で、ある爺様から「まつりごと」の本じやと薦められ、よくよく聞くとそれは孔子の言葉をまとめた「論語」という本だと言う。孔子の姿を描いた書物を見ると、それは夢の中で、見た爺様にそっくりだったと言う。大阪日日新聞のコラムからだが、「麟角堂の麟角とは 中国の聖獣で、孔子が生まれるとき、庭に駆け込み聖人の誕生を告げられたといわれ、孔子は麒麟が死ぬ場面にも遭遇する。そのよきな麒麟と孔子の関係から麟角堂と名づけたものと思われる」と新聞に書いてある。「学ぶ者は牛(ぎゅう)毛(もう)の如く、成る者は麒麟の角となれる極小の可能性を、庶民にも与えた満貞は、やはり名君だったのである。

NPOの現状と課題

特別顧問 高垣 匡往

特定非営利活動法人NPO 寺内町久宝寺は、まちなみセンターの指定管理者に選任されて以降、八尾市管理条例等で制約を受けながらも、まちづくりの拠点として効率的な運営を行っています。また包括団体である推進協会は、地域文化や遺跡・遺産の調査、研究を精力的に推進しながら、魅力再生にもつながる活動を通じて地域住民の認識を深めることにより、「人づくり」「まちづくり」のための情報共有の場を創設していくことにも努めています。まちづくりが進むにつれて来訪者も増加の傾向にあるので、「オモテナシ」を含む場として、先般空き家になっている伝統的建物の所有者、和久田様と、使用貸借を基にして接渉の結果、和久田様の深いご理解によって好条件でお借り出来ることになりました。建物の名称は憩いの場、多目的の場、校外授業の場等勘案の結果「まちなみ麟角堂」と名付けました。具体的な活用については、時間をかけて熟慮してまいります。今後の課題としては、NPOの豊かな可能性と思われる学校教育、社会教育の垣根を超えて、新たな生涯学習の公共空間を創り出し、地域における特色のあるコミュニティづくりに努めなければならぬと考えています。更にNPO組織は基本的に「自発的無償行為」ではあるが、魅力ある組織と財力がなければ人は集まらないと思います。資金力をもつには自分達で稼ぐか、様々な助成金を申請するか、寄付金を募集するか、近い将来の姿を想定して対応しなければならぬと思います。以上私見を交えての記述、乞うご免!

ふれあい館日記

まちなみガイド

久宝寺小学校6年生 フィールドワーク

平成27年11月20日(金)授業の一環として行われていた地域学習で、久宝寺寺内町をNPOのまちなみガイドの案内を行っていました。後日、児童の感想文を校長先生よりいただきました。紙面の関係ですべて紹介できません。ご了承ください。

「顕証寺」

「フィールドワークの時は、本当にありがたかったです。とくに、ぼくの中で一番心に残ったのは、顕証寺が、近松山顕証寺西証寺と言われていること。理由は、ぼくは顕証寺が建てられてからずっと顕証寺と聞いていたからです。もう1つあります。それは、この久宝寺寺内町で一番大きな建物だからです。身近な所で知らない歴史があつたんです。知らない歴史があつた。知らない歴史を教えてくださいました。」

「まちなみガイド
あれこれやっています」

「念佛寺」



念佛寺の様子

「この間は久宝寺寺内町の念佛寺へ流すためのものや、用水路へ流すためのものや、念佛寺は融通念仏宗だといふことや、かねは、下から上に打つということや昔の許麻神社の近くに久宝寺といふ寺があつたということ、井戸水の口には鉄分が多く飲み水には合わないということなどを教えて頂きました。」

河内木綿の栽培

久宝寺小学校

土曜スクール

(河内木綿担当者)
NPO法人河内木綿藍染保存会の方に、出前授業を依頼し10月24日、5・6年生、11月7日、1・2・3年生に綿くり体験や糸車を使って糸にしたい様子などを教えていただきました。自分から出ていた服がこの綿の実は着ている服がことに驚いてくる児童もおり、みなさん真剣に先生のお話を聞いていました。

アドプト活動

花のボランティアさん 大集合!

(河内木綿担当者)
4月27日、久宝寺緑地事務所前の歩道の花壇を耕し、5月1日は、公園事務所、八尾土木管理事務所の方、NPO法人河内木綿藍染保存会の方、観光ボランティアガイドの方々と綿の種を植えました。2500のポットに1粒ずつ植え、1か月後には畑やプランターに植える予定です。

大水路の浚渫

(水路・鯉担当山分・金田)



土木事務所と担当者が共に大水路清掃

24日にかけて行いました。2320をく取り泥頼所木八
で見えるようになった川底もきれいに掃除した。泥、日、月、業除を落し、依務土
魚も泳がせたいと思っ、鯉や金
す。

視察研修会

好天に恵まれた11月28日、朝8時半に34名を乗せたバスが愛の郷の駐車場を出発、一路奈良県は宇陀松山に向けて出発しました。
道中は大した渋滞もなく11時頃に道の駅「宇陀路大宇陀」に到着、早速2班に分かれて先ずは「黒川醤油店」を見学、大豆を蒸す工程から出来上がりまでを案



視察研修の参加者

内していただきました。参加者は「特に、大きな樽に餡色をした液体が、麹菌などの作用で発酵しているさまが印象的でした。次に、「森野旧薬園」を訪ね、裏手の小高い丘に約250種類の草木が咲いているとのことでしたが、生憎冬の手前という時期で、今度は春の爛漫の頃に訪れてみたいと思つた」と感想を述べました。

山西口関門」に行き、徒歩で松山の古いまち並みを見て歩き、まちなみギャラリーや松山城跡等を散策しました。参加者は「今回の視察を通して「まちおこし」には、仕掛けと熱意のあるリーダーとそれを取り巻く人の輪という基本的なところが大事なんだと思つた一日でした。」と今後の久宝寺寺内町のまちづくり活動の参考になったようです。

やお80秒映画祭



撮影の様子

3月27日(日)にアリオ八尾・MOVIX八尾にて「やお80秒映画祭」が開催されました。ちょうど当NPO法人のホームページに久宝寺の動画を載せることができればと会議で発言が出ていた時でした。

募集締め切りまであと二週間というタイミングで、撮影開始いたしました。久宝寺の人たちが出演し、久

宝寺の町を巡る80秒の作品。ホームページの作成でお世話になつているBダッシュユさんの力をお借りしてなんとか出展できました。

結果は……残念!落選いたしました。また、来年?挑戦致します!

渾身の作品は、ホームページ kyu-machinami.or.jp まちなみTVにて放映中です。どうぞ、ご覧くださいませ。

案内看板を設置

一昨年度のJR久宝寺駅と近鉄久宝寺口駅に続き、中井歯科医院の交差点に久宝寺小学校区まちづくり協議会の事業で久宝寺寺内町案内看板を設置しました。また、久宝寺の交差点(許麻神社南側)と久宝寺中学校西交差点の2カ所に、寺内町への来訪者のための案



中学校へ設置する様子

案内看板を当NPO法人の事業で設置しました。今後は寺内町の歴史遺産や史跡の案内看板の設置を計画しています。

燈路まつり9月11日

開催日決定!

今年で8回目となる久宝寺寺内町燈路まつりは、八尾河内音頭まつり実行委員・地域の関係団体との協議の末、9月11日に開催することになりました。

燈路まつりの実行委員長の近藤理事は、「地域の3世代交流と久宝寺寺内町のまちづくり活動の発信を担う燈路まつりを、今年も新しい取り組みを加えて盛り上げていきたい」と意気込んでいます。

広報部では、燈路まつりのポスター作成に使用する写真やイラストを提供していただけます。5月末日までにみせんターまでご連絡ください。(〇七二一―九二四―六三七二)

おとうさんと一緒に。

3月6日(日)、「父と子のふれあいイベント」を開催しました。多くのご家族・親子で賑わい、寺内町のまちなみを散策したり、クラフトやしいたけの菌打ちな



菌打ちから一年で立派なしいたけに

どをして楽しい時間を過ごしました。参加されたお父さんは、手際よく作業を進めていくお父さんの姿に「すごい！」と声をあげていました。

参加者の感想「まず初めにメタセコイヤという植物の殻で、ネズミの置物を作りました。兄のネズミは耳を立てていたけど僕のは寝かせました。うまく仕上がって嬉しかったです。あと、ドングリのキーホルダー作りや押し花をラミネートし

たり、葉っぱの写し絵をしたり色々な工作ができて良かったです。

一番楽しかったのは、し



菌打ちの様子

いたけの菌打ち体験です。ほだ木にしいたけ菌をトンカチで打ち込むところを頑張りました。おいしいしいたけができるのを楽しみにしています。」と目を輝かせて、親子一緒にほだ木を抱えて帰られました。

父と子の距離がぐっと近くなったイベントとなりました。

特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷「餅つき大会」

12月30日、久宝寺寺内町まちづくり推進協議会とNPO法人寺内町久宝寺の10人が餅つき大会の応援に行きました。

愛の郷ご利用者の方が大勢ホールに集まられ、中央に

臼を設置して周りを取り囲み、「ヨイショ」の掛け声と一緒に餅つきを楽しみました。「昔取った杵柄」で若い者より上手に杵を振り上げ餅をつかれる方や、100歳の方にも餅つきをして楽しんでいただきました。

ただ残念ながらご利用者の方には、のどに詰める等の理由で食べられない方も多いそうです。もうすぐ正月がやって来る。餅つきの雰囲気だけでも味わってもらいたいと施設の配慮だと思えました。

昨年は上手く鏡餅が出来なかつたので、「今年は良い餅を作るゾ！」という思いで、施設の餅つき担当者と打ち合わせ・準備をして餅つきに臨みました。餅米をせいろで蒸し、鏡餅、エビ餅、あんこ餅、ミカン餅を手際よく作ることが出来ました。味見もしましたが美味しかったです。施設の利用者様、職員の皆様にごぞ良いお正月を迎えてください。」と私たちの思いも伝えることが出来たように思いました。

ありがとうございました。

大好評！満員御礼

久宝寺寺内町まちづくり推進協議会・NPO法人

寺内町久宝寺主催のイベントを開催しました

『考古学から見た』

久宝寺の歴史

講師 原田 昌則先生

平成28年2月7日

来館者54名



埋蔵文化財調査センター・原田先生ご講演

今回の講演会のテーマが専門的過ぎて、はたして多くの人が聴きにきてくださるのか正直心配でした。ところが開始30分ぐらい前から次々と人が来られ、始まる前には殆どの席が埋まってしまうました。講演会に来られた人は、大半がJRや近鉄電車を使って久宝寺

以外から来られた方々で、事前に準備しておいたプリントやスライドを、使った先生の講演を最後まで熱心に聴いたりメモを取っておられました。考古学に殆ど関心の無かった方は、「ここ久宝寺が、濱辺で、縄文や弥生といった古い時代から人々が生活をし、こんなにも多くの遺跡や遺物が埋まっていたなんて全く知りませんでした。」と驚かされていました。今回の講演会は、まち割りや、古民家の残る久宝寺と違った新しい一面に触れる事ができ、実際に有意義なものでした。

着物リフォーム
ファッションショー
平成28年3月20日
来館者75名



見事なりフォーム着物でランウェイを歩く様子

月に3回、まちなみセンターの会議室や研修室で、着物リフォーム教室をされている「つながり会」の方に「ファッションショーの開催をお願いしました。」

「好きなきな者同士で立ち上げたつながり会、初めてファッションショーを開きました。多くの人が見に来ていただいた中、コート、ジャケット、ブラウス、留めそでからのロングドレスと自分の作品を着て20数名がファッションショーに参加しました。始めは不安で足が震えると言っておりましたが、本番になると堂々

たるものでした。箆筒に眠っている思い出しっぱいの着物を仕立て直し、世界に一つしかない服。楽しいものです。見に来てくださった方々にも「とっても良かった」という言葉をいただき、本当に開催してよかったです。ありがとうございました。

今回、拓本展を開催するにあたって中心的な役割をはたしてくださった吉田俊司さんからのコメントです。「昨年11月に、顕証寺菊花紋瓦に出会い、拓本のお話から久宝寺『拓本展』開催の意向をお伺いし、お引き受けしました。冬期と重なり屋内で作業を進める中、顕証寺所蔵品の獅子口瓦に出会い、拓本を採って行く過程では是非多くの方に見ていただきたい気持ちで沸き上がりました。その瓦には制作年号、制作者名が刻まれており、約290年前の瓦である事が判明し感動を覚えました。それ以後、許麻神社・念佛寺・発願寺各所蔵品・道標・解説文の拓本を重ねていく事により久宝寺の歴史を改めて感じました。」

「久宝寺 拓本展」

平成28年3月26日・27日

来館者189名



拓本体験コーナーで説明されている吉田氏

八尾市長を始め多くの方々に拓本展を見ていただき、「実演」・「体験」を通じて「拓本」って？と思っておられた方にも、少しご理解していただけたことと思います。開催に当たり多くの方のご協力にお礼申し上げます。

特別養護老人ホーム

久宝寺 愛の郷

●デイサービス ●ショートステイ

〒581-0072 大阪府八尾市久宝寺3丁目15番38号
TEL: 072-924-5660 FAX: 072-924-5666
HP: <http://www.kyuhoji-ainosato.jp>

サービス付き高齢者向け住宅

特定施設入居者生活介護

やおもり

八尾の杜

(全室個室・24時間対応・終身型)

〒581-0072 大阪府八尾市久宝寺3丁目15番39号
TEL: 072-968-8175 FAX: 072-968-8176
HP: <https://yaonomori-kaigo.jp/>

河内のことば

其の二

標準語講座

河内地方の方々には、方言だと意識しないで使っていることばがあるようで、今回はそのことばの標準語を学びましょう。

ことば

河内ことば

うっとこ
かーかす
じょうがな
しんどの
じやまくさ
こかす
こける
みてみ
もーてくる
やらこい
はよ

標準語

自分の家
乾かす
仕方ない
疲れた
面倒くさい
倒す
倒れる
見てごらんなさい
貰ってくる
柔らかい
早く

会話

Aさん.. あんた ひよーりが
ええからかいもん
いこか。

Aさん.. 奥さん 天気
良いから買い物に
行きましようか。

Bさん.. きんの ぎよーさん
こーたから いかへん。

Bさん.. 昨日たくさん
買ったからやめておくわ。

Aさん.. そんなら わて
一人で 行ってきまっさ。

Aさん.. それなら私
一人で 行ってくるわね。



イラスト 葉山 顯吾 さん

参照：八尾文化協会発行『河内ことば辞典』

久宝寺で育った
八光堂・松本仏壇(工場)

仏壇仏具の総合センター
(株) 八光堂 仏具店

八尾市本町 3丁目 1-17
TEL 072-992-3000

電気・空調・消防設備
電気通信・太陽光発電設備

— 設計・施工・保守 —

明和電気防災株式会社

本社 八尾市佐堂町 1-1-4
TEL.072-996-4961(代) FAX.072-996-0007
東大阪支店 東大阪市若江西新町 2-8-16
TEL.06-6725-5332(代)
柏原支店 柏原市太平寺 1-13-38
TEL.072-998-4961

みんなの声

来館者に八尾市まちなみセンターでやってほしいまちづくりや活動について聞いてみました。



今年の後半にでも可能であれば真田幸村ブームに関連して戦国時代の久宝寺並びに八尾などの歴史(動き)をお願いできればと存じます。70代男性(南本町)

子どもが久宝寺に関心をもてるような内容でイベントを企画して頂けると誇りをもってもらえるかと思えます 40代男性(久宝寺)



大坂の陣関係の講演、展示がみたいです。?代女性(?)



八尾市に引越して来て一年になります。この辺りの事をあまり知りませんでした。が、歴史講演会で久宝寺の歴史がよく(?)わかりました。もっと歴史・文化など何でも知りたいです。60代女性(龍華町)



地元の歴史(特に考古学)の講演会。60代男性(奈良市)



燈路まつりを楽しみにしています。30代女性(山本町)



孫からおじいちゃんおばあちゃんが一同に楽しくすごす時間(イベントや話の場) 60代男性(久宝寺)



無くなってしまいう前に昔の写真を資料として集めつづけてほしい。久宝寺カルタを作ってはどうか。50代男性(久宝寺)



こんなステキな歴史講演会に参加できてとっても楽しく有意義な時間をありがとうございます。講演会の先生、スタッフの皆様に感謝。60代男性(福万寺町)



今後、“みなさんの声”を参考に久宝寺寺内町のまちづくり、世代間交流、歴史を周知していただける活動やイベントを開催し、皆様に愛されるまちなみセンターになるように努力します。

久宝寺青年団インタビュー



3月2日(水)の夜、多くの参詣者で賑わう許麻神社に鬼追式が行われました。

たいまつを掲げ、大声で突き進む鬼の集団に子ども達の中には大泣きされている方もおられました。

大迫力の鬼達に颯爽とあらわれた神・スサノオが見事に鬼をやっつけて大歓声のうちに鬼追いが終わり、豆がまかれました。

許麻神社総代さんにお話を伺うと、この鬼役などは青年団がやってくれていると聞きました。

後日、青年団の尾西拓磨さんにお話を伺う事が出来ました。「青年団の活動は多岐にわたっています。」と教えていただきました。夏祭りや節分に限らず、市民スポーツ祭など地域の行事に

も力を注いでおられます。今年の夏、近所の中高生が「今年、青年団にはいつ



久宝寺青年団の尾西さん

て祭りやんねん！」と誇らしげに語る声を聞くと、何とも心地いい気分にさせてくれたのを思い出しました。今後も久宝寺青年団の活動、がんばってくださいね！

久宝寺青年団募集！

080・4645・2126

(尾西)

理事長挨拶 田中良明

先日、久宝寺寺内町まちづくり推進協議会総会において前期に引き続き理事長というまとめ役をお引き受けしました。齢80を過ぎ心身の回転も鈍くなっています。ご迷惑をおかけすることも多くなると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

推進協が発足して20数年、NPO法人寺内町久宝寺として承認されて3年目を迎えますが、大過なくやってこれたかなあと振り返っています。これも地域の皆様のご支援のおかげと感謝しております。「八尾市まちなみセンター」の指定管理の切り替え年にあたりますが、私たちは是非このまま継続をと願っています。

地域の誰もが、久宝寺寺内町についてもっと知っていただけるように「スタンプラリー」を実施し、健康づくりにもと考えています。また、「燈路まつり」もより一層盛況になるよう努めて

まいります。皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

終わりになりましたが、「熊本地震」が1日も早く収束することを願い、被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

活動予定

「八尾と長瀬川の歴史散策(テーマ水路)」

平成28年6月26日(日)

集合10時久宝寺船着き場

(受付9時30分)

散策12時まで

歴史散策↓

八尾市まちなみセンター

昼食 各自弁当持参

講演12時45分

「八尾久宝寺の水路」

講師 アクアフレンズ

美野原弥恵氏

参加費無料

お問い合わせ先 八尾市まちなみセンター

募集してまっせ

お問い合わせ

八尾市まちなみセンター

☎〇七二・九二四・六三七二

60歳からの「スマホ教室」

スマホを使ってみたい、知人とメールがしたい、でも操作も難しそうだし料金も高いのでは？

などと悩んでおられる方も多いのではないのでしょうか。まちなみセンターでは、初めての方や興味のある方々のために無料で、6月上旬から週1回(水曜日)朝の2時間で4〜5回コースを募集します。(先着順10名程度)

◎まちなみセンターの研修室・

まちなみ鱗角堂

借りられます。詳細は事務所まで

◎ほっとステーション(毎月第3日曜日)

の接客及び楽器演奏・ダンス・手品など特技をお持ちの方(随時)

◎寺内町新聞で紹介させていただく最近(2・3年以内)久宝寺

地区に引っ越して来られた方(自薦・他薦は問いません。随時)

◎まちなみガイド要員(久宝寺

寺内町に興味のある方なら経験は問いません。随時)

◎河内木綿の糸つむぎ・来年の種ま

きや水やり、収穫のお手伝いいただける方(随時)

編集後記

今回の「久宝寺寺内町新聞」は当団体の活動が順調に進んでおり、お伝えする情報、内容も増え、紙面がボリュームアップしております。今後も読みやすい新聞を作っていきたいと思

◎燈路まつりのポスター制作に使用する写真・イラストを提供していただける方(随時)